

令和6年度活動報告



令和6年5月 第1回野幌森林づくり塾

林野庁 北海道森林管理局

石狩地域森林ふれあい推進センター

全国の森林面積の３割を占める国有林を管轄している林野庁では、全国に９箇所の森林ふれあい推進センターを設置（うち北海道森林管理局管内に４箇所）し、それぞれの地域の特色を活かし、国有林野を活用してＮＰＯ団体等が行う自然再生活動や生物の多様性の保全活動、学校等が実施する森林環境教育等に対して、技術的な指導や情報の提供等の支援を行っています。

石狩地域森林ふれあい推進センターの活動区域



石狩地域森林ふれあい推進センターは、豊富な森林資源と多様な森林景観に恵まれた山岳林等にある定山溪国有林と都市近郊の丘陵森林である野幌国有林を主たるフィールドとして、様々な活動を行ってきました。

定山溪国有林では、札幌市の「水源の森」である豊平川源流部において、苗木の植栽から保育作業等を市民・ボランティア団体等と一緒に取り組んでいます。また、森林環境学習の場として、札幌市立定山溪小学校・中学校と定山溪の森林をフィールドにした植林活動や環境保全活動等に取り組んでいます。

野幌国有林では、平成16年9月に発生した台風により、約77haにおよぶ風倒被害を受けた野幌森林公園において、森林再生に向けた取り組みを行っています。

また、様々な機関等からの要請に応じて支援活動等を行っています。

定山溪国有林での取り組み

札幌水源の森づくり

豊平川源流部に位置する定山溪国有林は、札幌市の「水源の森」として、札幌市民約 197 万人の生活を支える水道水の源として、おいしい水を育む重要な役割を果たしています。

平成 16 年から取り組んでいる「札幌水源の森づくり」では、札幌市内中心部で一般参加者にポット苗木を作製してもらい、「水源の森」への植栽はボランティア団体・協力機関で行って来ました。

令和 6 年 7 月 23 日(火) 水源の森の下刈り作業

これまで「札幌水源の森づくり」に参加された皆さんが作製した苗木は、「水源の森」（定山溪ダム上流の国有林）に植栽し、大切に育てています。



〔下刈作業の様子〕



（下刈後の様子）

令和 6 年 8 月 24 日(土) 「札幌水源の森づくり 2024」

札幌市創成川公園・狸二条広場において、札幌市と共催でボランティア団体等の協力を得て開催しました。

会場設営時に雨が降ってきましたが、すぐに雨も上がり、多くの市民の方々に賑わいました。

参加された皆様のご協力により、ポット苗木（トドマツ、ミズナラ、ヤチダモ）を 200 個作製することができました。



〔ポット苗木作りの様子〕



〔積み上げられたポット苗木〕



〔メッセージが書かれたポット苗木〕

令和6年9月19日(木) 水源の森に苗木を植栽

8月24日に札幌市内中心部で開催した「札幌水源の森づくり 2024」で作製したポット苗木を定山溪にある水源の森に植栽しました。

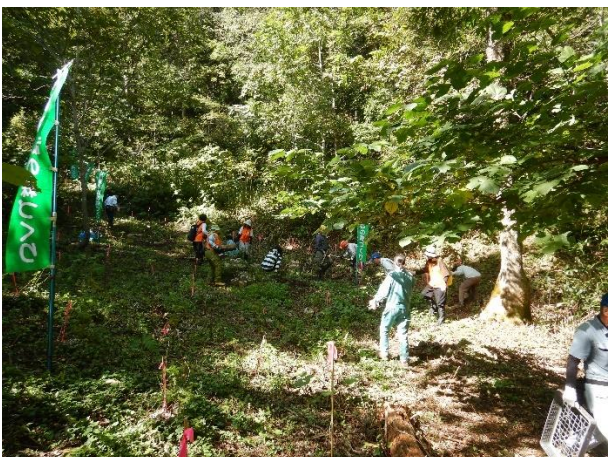
当日は天候に恵まれ、「札幌水源の森づくり 2024」のボランティアスタッフ、協力機関の方々とポット苗木 200 個を植栽することができました。



〔ポット苗木の運搬の様子〕



〔植栽箇所の植穴掘と植栽の様子〕



〔作業の様子〕



〔作業終盤の様子〕

地域のもりから学ぶ森林づくり

地域に根ざした取り組みとして、札幌市立定山溪小学校・中学校と「地域のもりから学ぶ森林づくり」を定山溪国有林で継続して実施しています。

近隣の自然をフィールドとして、定山溪小学校（５・６年生）、中学校（全学年）を対象に森林教室を５回開催しました。

今年度は、来年度から実施される小・中一環の義務教育学校化に向け予行的に全ての森林教室を小・中合同で実施しました。

また、今年度の活動内容等は「森づくり活動発表会」で報告されました、

令和６年５月９日(木) 第１回森林教室 「身近な自然を見に行こう」

定山溪小・中学校が環境保全活動をしている三笠緑地において、小学校（５・６年生）と中学校の合同で、身近な自然を観察することを目的とした、植生の開花調査を実施しました。この植生調査は環境保全活動の一環として、平成２５年から継続して実施しています。また、調査終了後、中学生は環境保全活動の看板を設置しました。



〔センター職員から調査方法を説明〕



〔植生調査の様子〕



〔植生調査の様子〕



〔環境保全活動看板の設置〕

令和6年6月6日(木) 第2回森林教室 「森をつくろう」

これまで中学生が森林教室のフィールドとしている「夢の森」での活動は、今年度より小学校(5・6年生)と合同で実施することになりました。

第2回は「森をつくろう」と題して、カミネッコンを用いてポット苗の作製、植樹とエゾシカ食害防止保護管の設置、初夏の生き物さがし、森のブランコ体験を実施しました。



〔カミネッコン作製の様子〕



〔ポット苗にエゾシカ食害防止保護管設置の様子〕



〔植物観察の様子〕



〔「夢の森ブランコ」の前で集合写真〕

令和6年7月18日(木) 第3回森林教室

第3回は、「夢の森」を整備しよう(ウッドチップによる遊歩道整備)、「この木なんの木?」(樹名板設置)、『夢の森』生き物図鑑と今を比較しよう(夏の生き物さがし)、「森の音と風を感じよう」(森のブランコ体験)を実施しました。

当日は、快晴の天気予報を受け、日陰用のテントを設営し体調に気を付けながら行いました。

また、この日は中学校の学校公開日だったこともあって、多くの保護者の方々が初めて「夢の森」を訪れ、子供たちの体験学習の様子を見守ってくれました。



〔ウッドチップによる歩道整備〕



〔樹名板の設置〕



〔夏の生き物探しの様子〕



〔日陰用のテントを設置〕

令和6年9月26日(木) 第4回森林教室「夢の森」で森林づくり体験

秋の森林教室は、「守って育てる天然の苗」（エゾシカ食害防止保護管による天然生若木の保護と生長の歩み）、「来てくれるかな？」（野鳥の巣箱設置と営巣した巣箱の観察）、「これって何のタネ？」（種子の観察）、「森の音と風を感じよう」（森のブランコ体験と木のボウリング）を実施しました。



〔エゾシカ食害防止保護管の設置〕



〔巣箱の設置〕



〔プランターに種子をまいている様子〕



〔木のボウリング体験〕

令和6年12月20日(金) 「森づくり活動発表会」

定山溪小・中学生が、環境学習、森林保全、自然とのふれあい・観察等の活動を紹介する「令和6年度森づくり活動発表会」を定山溪小学校で開催しました。

定山溪中学校からの活動発表は「森を守る活動を未来につなげよう ～人と動物に優しい森づくりを通して～」と題して、今年度「夢の森」と「三笠緑地」で実施した活動内容等を発表しました。



〔中学生の発表の様子〕



当センターからは「タネの不思議 ―植物の作戦―」と題して、根を張って動けない植物が、どのようにしてより遠くへタネを運んで子孫を増やしていくのかについての講話の後、「チャレンジ タネから育てる『夢の森』」と題して、今年度採取したオニグルミ、テウチグルミ、サワグルミ、キタコブシ、ツリバナの種子をプランターにまきました。



〔センターの発表の様子〕



〔タネまきの様子〕

令和7年2月27日(木) 第5回森林教室 (冬)

定山溪小(5・6年生)・中学校(1・2年生)を対象にした冬季の森林教室を「夢の森」で実施しました。

天気にも恵まれ、雪原の「夢の森」で外来種のハリエンジュ(ニセアカシア)の玉切り体験、積雪深を確認する断面観察、野鳥観察などを実施しました。

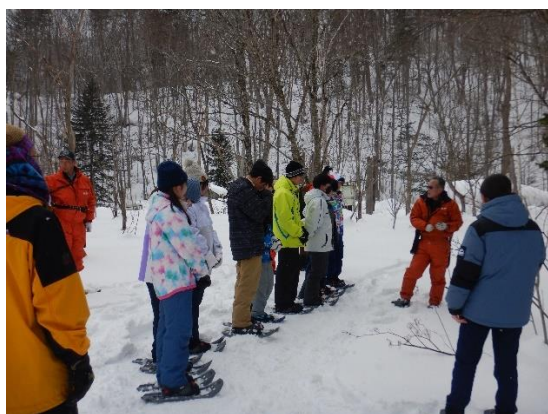
玉切り処理をしたハリエンジュ(ニセアカシア)は、職員製作のペール缶を加工した「ロケットストーブ」の薪に利用し、暖をとりながら焼きマシュマロをいただきました。



〔ハリエンジュ(ニセアカシア)を玉切る様子〕



〔積雪断面観察の様子〕



〔野鳥観察の様子〕



〔焼きマシュマロを食べながら休憩〕

定山溪小・中学校の児童・生徒の皆さん、今年度もお疲れさまでした。

野幌国有林での取り組み

野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

平成 16 年 9 月の台風 18 号により被害を受けた野幌の森林を「100 年前の原始性が感じられる自然林」を目指した「野幌森林再生プロジェクト」を策定し、平成 17 年度から各種取り組みを実施しています。ここでは、野幌の豊かな自然のすばらしさ、森林に関する理解の醸成等、NPO 団体等と協働による森林づくりに取り組んでいます。



〔平成 16 年 9 月に発生した台風 18 号の被害直後〕

また、本プロジェクトのほか、平成 30 年 9 月に発生した台風 20 号による風倒被害箇所の一部を利用して、新たな森林再生に向けた取り組みを令和 4 年度からスタートしました。



〔平成 30 年台風の被害直後〕



〔風倒木の処理痕の状況（R4.5.31 ドローンで撮影）〕

団体型の森林づくり

石狩森林管理署と「団体型森林づくり」協定を締結している NPO 団体、大学、企業等が風倒被害跡地に植栽し、その後の保育や生長調査等を継続的に取り組んでいます。

併せて、平成 30 年に発生した台風被害箇所においても同様の協定を NPO 団体等と締結し、被害跡地の森林再生に取り組んでいます。

当センターでは、NPO 団体等に対して、現地での技術指導等の支援を行っています。

野幌森林づくり塾

野幌森林づくり塾は、平成 16 年の台風被害にあった野幌森林公園の自然再生プロジェクトの一環として、植栽等の森林づくりを体験しながら森林づくりに関する知識を習得し、将来的には自主的なボランティア活動の展開につながることを期待した取り組みです。

今年度は、13 名の応募があり、3 回の森林環境教育プログラムを実施しました。

令和 6 年 5 月 21 日(火) 第 1 回「優良苗木研究の今と接ぎ木体験」

第 1 回目の森林づくり塾は、森林総合研究所 林木育種センター 北海道育種場において「優良苗木研究の今と接ぎ木体験」と題して、北海道の優良種苗研究の現状の説明を受けた後、接ぎ木の体験を行いました。



〔優良種苗研究の現状説明の様子〕



〔接ぎ木体験の様子〕

令和 6 年 6 月 27 日(木) 第 2 回「外来種駆除！（オオハンゴンソウ）」

北海道ボランティア・レンジャー協議会との協働事業として、特定外来生物であるオオハンゴンソウの除去を行いました。参加者は、野幌森林づくり塾、北海道ボランティア・レンジャー協議会、北海道立総合博物館、北海道立野幌森林公園自然ふれあい交流館、石狩森林管理署、当センターと一般参加者を含む総勢 30 名（うち野幌森林づくり塾生 10 名）で実施しました。

天候にも恵まれ少し汗ばむ陽気の中で気持ちの良い汗を流しての作業になりました。



〔オオハンゴンソウの抜き取りの様子〕



〔根の切り取りの様子〕

令和 6 年 10 月 3 日(木) 第 3 回「森林づくりを体験しよう！」

平成 30 年に発生した台風による風倒被害跡地にカミネッコンを利用した植付を行いました。植栽木は、植栽箇所近くに自生している稚樹（イタヤカエデ、ミズナラ、ヤチダモ、トドマツなど）を採取しカミネッコンに移植しポット苗木を作製しました。



〔稚樹をカミネッコンに移植しポット苗木を作製〕



〔風倒被害跡地にポット苗木を植付〕

今年度も無事に 3 回のプログラムを終えることができました。



〔第 1 回〕



〔第 2 回〕



〔第 3 回〕

令和 7 年 2 月 12 日(水) 令和 6 年度 野幌森林再生活動連絡会

「モデルプロジェクトの森における森林整備活動」に関する協定を締結している NP0 団体等のほか、オブザーバーとして野幌森林公園を管理している北海道博物館、公園内の道有林の管理等を担当している北海道空知総合振興局森林室、北海道石狩振興局産業振興部林務課、国有林のフィールドを管理する石狩森林管理署が出席して開催しました。

事務局から各団体の活動実績及び次年度の活動計画の報告等の後、石狩森林管理署から平成 30(2018)年 9 月に発生した台風被害箇所の処理状況、当センターから今年度開催した「野幌森林づくり塾」の概要等の説明がありました。

森林再生活動に関する意見交換では、野幌森クラブから今年度実施した樹木生育調査の結果報告及びエゾユキウサギ、エゾシカ、野ネズミによる食害状況について、また、NP0 法人 EnVision 環境保全事務所から冬季に設置している自動撮影カメラに特定外来生物であるアライグマの撮影頻度が高いこと等について報告がありました。



〔連絡会の様子〕



〔出席された各構成団体の皆様〕

新たな森林再生に向けた取り組み

平成 30 年に発生した野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向け「社会貢献の森における森林整備活動の協定」に基づき取り組みを進めており、当センターでは活動団体の支援を行っています。

認定NPO法人シーズネット

認定NPO法人シーズネットは、野幌森林公園の台風被害跡地の森林再生に向けた取り組みを毎年実施しており、令和4年度から被害箇所（協定箇所）の植栽を始めてきました。

6月25日（火）植栽箇所の下刈りを会員10名で実施しました。



〔下刈作業の様子〕

9月10日（火）植栽予定箇所の地拵えを会員9名で実施した後、9月24日（火）今年度の植栽を会員16名で実施しました。



〔地拵えの様子〕



〔植栽の様子〕

【取組一覧】

1 札幌水源の森づくり

年 月 日	内 容	参 加 者	場 所
2024/ 7/23	「水源の森」下刈り作業	(職員実行)	定山溪国有林
2024/ 8/24	「札幌水源の森づくり 2024」	一般市民	札幌市創成川公園・狸2条広場
2024/ 9/19	「水源の森」植栽作業	札幌市、森林研究・整備機構、コープさっぽろ	定山溪国有林

2 地域のもりから学ぶ森林づくり

年 月 日	内 容	参 加 者	場 所
2024/ 5/ 9	第1回森林教室 「身近な自然を見にいこう」 植生の開花調査、環境保全活動看板の設置	定山溪小学校(5・6年生)・中学校	定山溪国有林(三笠緑地)
2024/ 6/ 6	第2回森林教室 「森をつくろう」 ポット苗木の作製、エゾシカ食害防止保護管の設置、夢の森ブランコ	定山溪小学校(5・6年生)・中学校	定山溪国有林(夢の森)
2024/ 7/18	第3回森林教室 「夢の森」の整備等 遊歩道整備遊歩道整備、樹名板設置、夏の生き物さがし、夢の森ブランコ	定山溪小学校(5年生)・中学校	定山溪国有林(夢の森)
2024/ 9/26	第4回森林教室 「夢の森」の整備等 エゾシカ食害防止保護管の設置、巣	定山溪小学校(5・6年生)・中学校	定山溪国有林(夢の森)

年 月 日	内 容	参 加 者	場 所
	箱の設置、種子の観察と植栽、夢の森ブランコ、木のボウリング体験		
2024/12/20	「森づくり活動発表会」	定山溪小学校 (5・6年生) 定山溪中学校	定山溪小学校
2025/ 2/27	第5回森林教室 冬の「夢の森」 外来種の玉切り体験、積雪深を観察する断面観察、野鳥観察	定山溪小学校(5・6年生)、中学校(1・2年生)	定山溪国有林 (夢の森)

3 野幌森林公園における野幌森林再生プロジェクト

年 月 日	内 容	参 加 者	場 所
2024/ 5/21	野幌森林づくり塾 2024 第1回 「優良苗木研究の今と接ぎ木体験」	塾生：11名	森林総合研究所 林木育種センター 北海道育種場
2024/ 6/27	野幌森林づくり塾 2024 第2回 「外来種除去！（オオハンゴンソウ）」	塾生：10名 (総参加者数 30名)	野幌国有林
2024/10/ 3	野幌森林づくり塾 2024 第3回 「森林づくりを体験しよう！」	塾生：12名	野幌国有林
2025/ 2/12	野幌森林再生活動連絡会	各構成団体等 北海道博物館 北海道空知総合振興局・石狩振興局 石狩森林管理署	北海道森林管理局

※ 上記のほか「団体型森林づくり」として、協力団体による森林づくりが行われています。

【就業体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）】

北海道森林管理局では、就業体験を通じて学生の高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、職場体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）を実施しています。

今年度、7・8月(7/31～8/1)に3名（石狩翔陽高等学校3名）、8月(8/24～26)に6（琉球大学1名、札幌工科専門学校5名）、9月(9/4～6)に1名（北海学園大学）を局、石狩森林管理署、当センターで受け入れ、幅広い分野での業務体験を実施しました。



〔7・8月に実施した石狩翔陽高等学校生の様子〕



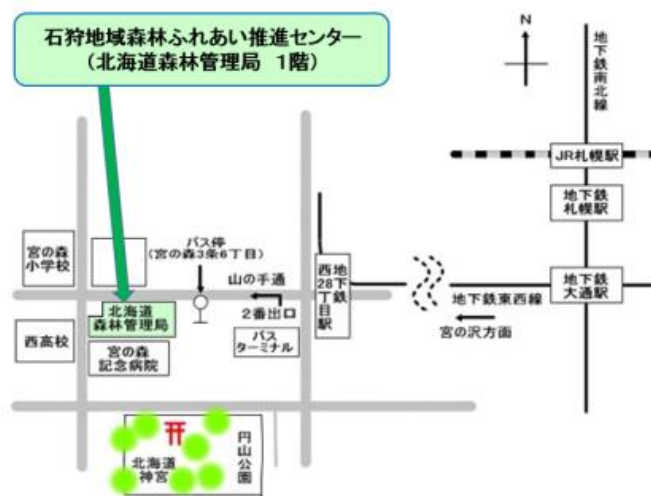
〔酪農学園大学生と札幌工科専門学校生の座学の様子〕



〔8月に実施した「札幌水源の森づくり2024」

酪農学園大学生と札幌工科専門学校生の様子〕

案内図



お問い合わせはこちらまで

林野庁 北海道森林管理局 石狩地域森林ふれあい推進センター

〒064-8537 札幌市中央区宮の森3条7丁目70番

TEL 011-622-5114

ホームページ http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/isikari_fc/

E-mail h_ishikari_f@maff.go.jp